



竜北

生徒と教師が共に
育つ学校づくり

特別
支援
学級

特別
支援
学級

竜北

令和6・7年度知立市教育委員会 研究委嘱
知立市立竜北中学校



〒472-0022

愛知県知立市山屋敷町東山2番地2



0566-82-8131



<http://www.city.chiryu.ed.jp/ryuhokujh>



ryuhokujh@city.chiryu.ed.jp



目次

CONTENTS

写真で見る「たのしむ姿」	… 03
研究概要	… 05
授業づくり	… 07
竜北タイム	… 09
姿を生かす	… 11
学校組織	… 12
研究のまとめ	… 13
おわりに	… 14



生徒と教師が共に育つ

学びをたのしむ姿



目指す3つの姿

考えたい、やってみたいと
動き出す姿

他者とかかわりながら、
思いを広げたり、深めたりする姿

成長や課題を認識し、
次につなげる姿

手立て① 授業づくり

好奇心を引き出していく
単元構想の工夫

手立て②

生徒が思考し続けるための
教師の意図的な働きかけ

手立て③

成長や課題を認識し、次の学びに
つなげる「振り返り」の活用

手立て⑤

学級・学年

育んだ「3つの姿」を生かす
環境設定

- ・マイクラス人権宣言の設定と
学級会による話し合い

手立て⑤

生徒会活動

育んだ「3つの姿」を生かす
環境設定

- ・生徒会を核とした学校行事
- ・生徒議会、生徒総会の開催

手立て⑥

リーダーシップを共有し、互いに高め合う学校組織づくり

手立て④

竜北タイムを通した、学びの土台作り

- ・コミュニケーションタイム
- ・基礎基本タイム

- ・デジタルタイム
- ・リフレクションタイム



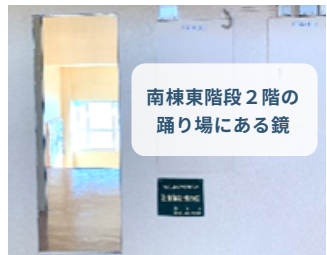
手立て①

好奇心を引き出していく単元構想の工夫

生徒の追究意欲を高める、日常生活からの疑問を基にした課題の設定



身近な竜北中学校の姿見を題材にした、学びを生かす発展課題の設定



1年理科 「家族全員の全身が映る鏡を考えよう」(8時間完了)

家族全員の全身を映す鏡とは、どんな大きさなのだろうか。(1時間)



きっと一番大きな人が映れば全員が入るんじゃないかな。

170 cmの人の全身を映す最適な鏡とは、どんな大きさなのだろうか。(3時間)

・鏡の長さは身長 halves の長さがあれば映るんだね。



え！？近くでも映ったよ。どうして近くでも全身が映るのかな。

鏡に立つ距離が関係ないのはどうしてだろうか。(1時間)

・目に届く光の道筋を考えたら、距離が関係ないことが分かったよ。
・一番大きい人が映る鏡が分かったから、これで家族全員が映るよ。



あれ！？170 cmの人が映る鏡に、146 cmの人が映らないよ。どうして？

身長異なる2人の全身が映る鏡は、どんな大きさなのだろうか。(1時間)

・二人の目の高さに着目すれば、鏡の長さや置く高さが分かったよ。



竜北生が使っている姿見はみんなの全身を映すことができるのかな？

学校の鏡はどれくらいの身長の人が映るのだろうか。(1時間)

・鏡の長さや置く高さが分かれば、何 cm の人が映るか分かるね。

手立て②

生徒が思考し続けるための教師の意図的な働きかけ

日常との感覚のずれを刺激する教師の問いかけ①



距離が遠ければ、小さい鏡でも映るんじゃないかな。



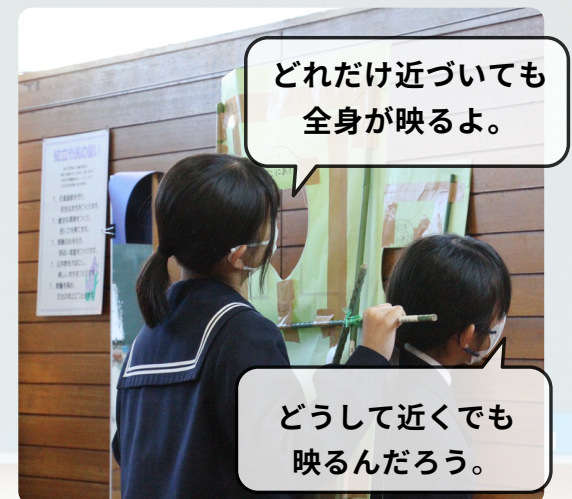
どんなに離れても鏡の長さは身長 halves の長さが必要なんだね。



鏡から30 cmの位置に立っても全身を映すことはできますか？



近すぎると映らないと思う。



どれだけ近づいても全身が映るよ。

どうして近くでも映るんだろう。

日常との感覚のずれを刺激する教師の問いかけ②

一番大きい人が映るなら、一番小さい人も映りますよね。



目線の高さが関係しているのかな？

えっ！足元が見えないよ！どうしてだろう？

手立て③

成長や課題を認識し、次の学びにつなげる「振り返り」の活用

① 分かったこと
できるようになったこと



② 興味や疑問をもったこと



③ 友達と話し合っ
て感じたこと



④ 次に生かしたいこと
次に学びたいこと



視点を
もたせた
振り返り



理科 視点②④

距離が遠くなれば、鏡に映る範囲が大きくなると思ったので、鏡は120cmで170cmの人の全身が映る地点を鏡から離して調べてみたい。見えたら、鏡を短くしてできるだけ短い鏡を見つけたいです。



理科 視点①④

反射の法則を使って考えると、鏡の長さや高さから学校の姿見には57cm～189cmの人を映すことができることが分かった。自分の家に姿見を置くときには、鏡の長さや置く高さを家族全員の身長に合うように置きたい。



手立て④ 竜北タイムを通した、学びの土台作り

コミュニケーション部会

質問じゃんけん

4つのポイントを意識して活動

- あいさつ
- うなずき
- 見渡して話す
- 指示を聴く

- じゃんけんで勝った方が質問
- ペアを変えて質問し合う
- (前期) 質問掘り下げタイム
「5W1H」の質問の紹介
- (後期) フリートーク
- 振り返りを伝え合う
視点…友達のよかったところ

活動中の生徒の姿を
教師が価値付け

質問じゃんけん

仲間と関わり合う
活動

仲間の考えや意見を聴いて、
自分の考えを伝えられる生徒

さいころトーキング
時期や学年に応じたテーマで語り合う

チョークリレー
共通のお題について仲間と考える

デュプリク
絵を言葉で仲間に正確に伝える

質問絵本
質問に対する考えを伝え合う



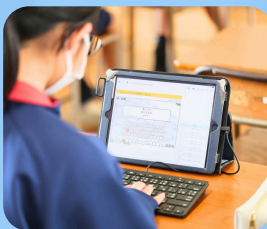
情報部会

基本的なICT機器の操作法を身に付け、
活用することができる生徒

デジタルタイム

① 基本的なICT機器の
操作法を身に付ける

- タイピング
- ホームポジションを意識したタイピング練習
 - タイピングの結果を記録し、自身の成長を実感



情報委員会

② 成長につながるICT機器の
活用法を考える

成長のプラスになる使い方や成長の
マイナスになる使い方を生徒の声を
もとに集約

A 活用できそうな
アプリの検討

B タブレット使用の
心得を打ち立てる



月 デジタルタイム 基礎基本タイム

5限後
14:30-14:40

水 コミュニケーション タイム

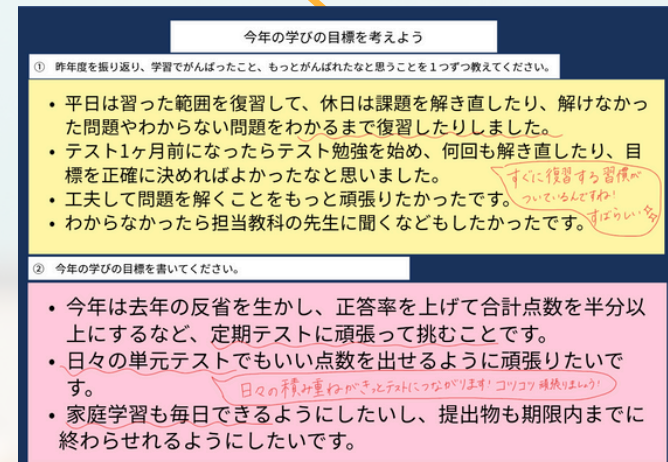
給食後
13:15-13:25

金 リフレクション タイム(振り返り)

給食後
13:15-13:25

リフレクション部会

毎週テーマを変えて行う リフレクションシート



教師からの価値づけにより
振り返りの力を高める

成長や課題を認識し、次の学びに
つながることができる生徒

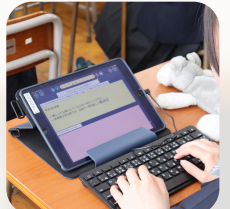
授業

日常

授業で身に付けた振り返りの力を日常生活でも
活用できるようにする。

身に付けたい振り返りの力

- これまでの自分を客観的に見つめる力
- これから何をするか具体的に考える力
- 友達の行動から自分自身に生かそうとする力



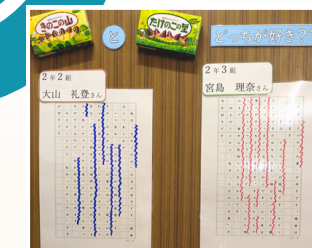
基礎基本部会

自分の考えを自分の言葉で表現できる生徒

条件作文

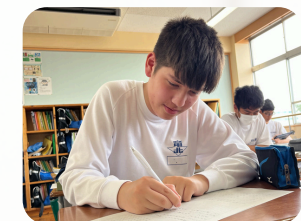
- 条件付け
 - ・時間制限(10分)
 - ・字数制限(200字以内)
- 3段落構成
 - ・段落役割の理解
 - ・論理的な文章構造の把握
- 2つの選択肢
 - ・自分の立場を選択する
 - ・意思決定する力の育成

掲示による 価値づけ



○価値づけポイント

- ・自分の意見が書けている
- ・自分なりの理由が書けている
- ・自分なりの言葉で書けている



と	だ	が	な	中	疲	い	と	私
思	い	か	高	静	て	だ	う	は
い	ま	ら	ま	か	取	い	と	勉
す	、	っ	な	り	り	、	で	強
・	私	は	い	空	組	リ	学	朝
	は	間	お	、	校	・	は	る
	勉	る	で	こ	が	部	め	と
	強	よ	目	と	が	活	ざ	き
	す	う	が	が	働	動	め	は
		る	に	さ	か	な	良	朝
	な	感	め	ま	か	ど	い	型
	ら	じ	て	せ	っ	の	ス	で
	朝	す	る	ん	た	あ	キ	・
	型	・	の	・	り	と	ッ	す
	し	が	で	・	し	で	リ	な
	が	よ	集	、	・	体	し	ぜ
	い		中	朝	集	が	て	か

姿を生かす

手立て⑤

育んだ「3つの姿」を生かす環境設定



人権啓発部会

学級の仲間全員にとって居心地のよい
学級を目指し、行動できる生徒



居心地のよい学級にするために



【マイクラス人権宣言とは】

- ①居心地のよい学級へ
→仲間全員にとって居心地のよい学級とはどんな学級か、話し合い、スローガンを決める。
- ②スローガンを実現するために
→居心地のよい学級を実現するために、普段から心がけることを3～4個程度決める。

リフレクション

マイクラス
人権宣言

実践

学級会

- ・リフレクション
→普段から心がけることがどれだけ達成できているのか振り返る。
- ・学級会
→リフレクションで振り返ったことをレーダーチャートに表し、今後の目標を決める。



生徒リーダー部会

仲間の意見を取り入れながら、よりよい学校にしようと行動することができる生徒

Ryuhoku
Party

みんなでたのしむ学校

Catch

- つかむ
意見を聞き、反映していこう
- ★PIPE BOXの設置
- ★生徒総会
- 【校則改訂、委員会改革】



Connect

繋ぐ 学年関係なく関わろう

- ★新入生歓迎会ミニレク
- ★わくわくタイム【全校レク】

4C

connect
cooperation
cheerful
catch

Cooperation

協力
みんなで協力しあい団結力を高めよう 絆を深めよう

- ★わくわくタイム【全校レク】
- ★体育大会生徒会種目【縦割り】



Cheerful

楽しい
全校生徒全員で楽しい学校を創ろう

- ★fan fun大作戦
- ★文化祭サイリウム作戦

学校組織

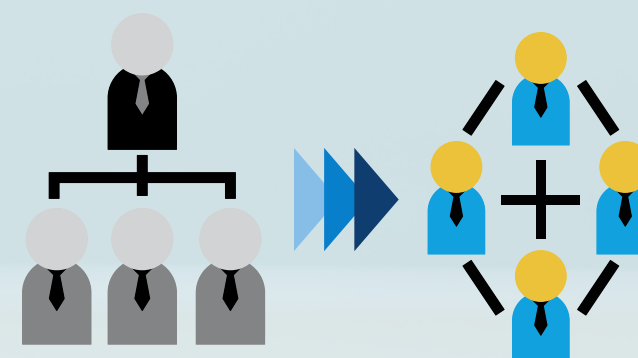
手立て⑥

リーダーシップを共有し、互いに高め合う学校組織づくり

教員一人一人が部会に所属
各部会が教育活動を展開

学校組織の改編

学校を動かすリーダーシップの共有



部会の企画を提案



授業・実践

教師の実践力や
やりがいの向上
学校運営の改善

検証の結果を生かし
よりよい実践を模索

実践の効果を検証



研究のまとめ

本研究を進めている教員にインタビュー



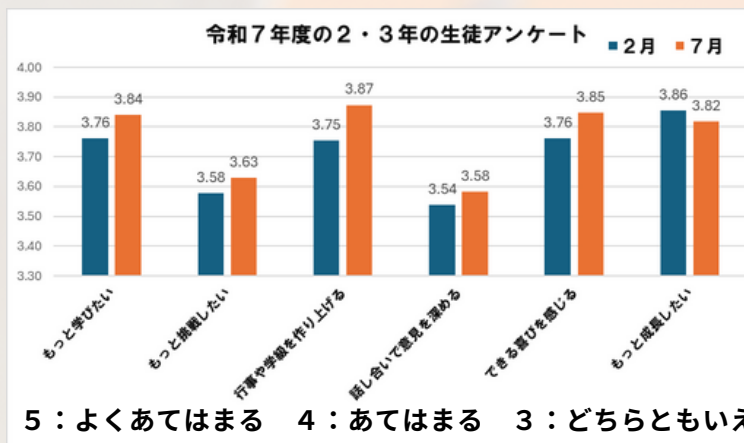
研究部の教員

- ・未知既知に関わらず、視点が広がる提供をすると食いつきがよい。好奇心を高めることをもっと大切にしたい。
- ・仲間とかかわり、意見を出し合うことの面白さを感じていると思う。
- ・年々、生徒の姿はよりよい方向に向かっていると思う。さらに、追究を深めていく力を身に付けさせていきたい。
- ・まだまだ自分を振り返る力をつける必要がある。自分の姿を客観的に振り返り、自分の力で改善をする力が必要だと思う。

竜北中勤務3年目以上の教員

- ・自分たちで考えてやってみたいと思う気持ちを大切にしてい
- ・コミュニケーションタイムやリフレクションなどは子どもたちの中では定着しており、それらを通して生徒が学びをたのしむ姿に繋げていくことが課題である。
- ・学びをたのしむきっかけを与えるように意識しているが、持続できていない。
- ・職員の横のつながりが強まったような気がする。

データから見る研究の成果と課題



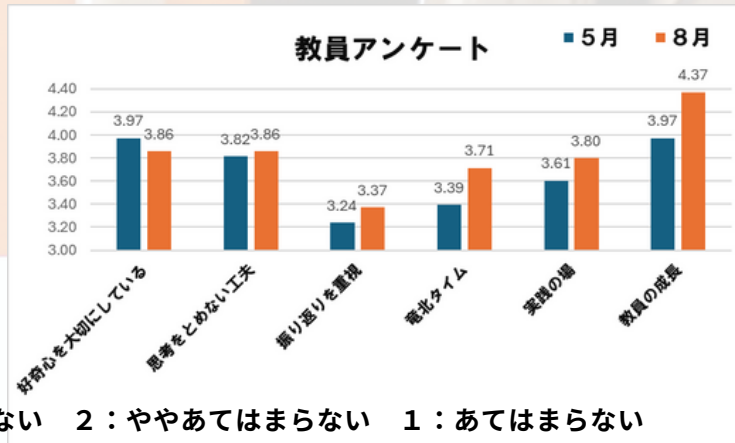
2月 N=444 7月 N=427
※令和6年度の1・2年生、令和7年度の2・3年生が対象です。

竜北中勤務2年目以内の教員

- ・発問を受け、思考や表現に挑戦する姿勢が見られる。
- ・共に考え学び、達成感を感じている姿が見られる。
- ・授業や竜北タイム等の活動において、生徒が興味をもって取り組む様子が増えたと思う。
- ・次の成長につなげる姿を引き出す方法を研究したい。
- ・教師の『情熱と熱意。そしてこだわり』を、いかに生徒に見せることができるか。そこが大切である。
- ・教師力をより磨き、生徒に適切な価値づけを行うなど、振り返り活動を生かした指導力を磨く必要がある。

静岡文化芸術大学 教授 倉本 哲男先生

- ・竜北中学校の学校理論（教育方針）が素晴らしい。三河地方の教育観（子どもありきの教育論）の再自覚につながる。
- ・1次円（目指す生徒像）2次円（生徒と共に育つ教師）3次円（竜北中発の生徒育成の提案）の構造は、カリキュラムマネジメントと合致する。
- ・授業論（手だて①②③）を包み込む生徒指導（手だて④⑤）、共に育つ教師像（手だて⑥）の研究の構造をこれからも大切にしてほしい。



生徒と教師の両方のアンケートを見ると、多くの項目の数値が上がっている。特に、生徒の「考えたい、やってみたいと動き出す姿」「他者とかかわり思いを広げたり、深めたり姿」に関する項目は、顕著な伸びを示している。このことから生徒の好奇心や協働性の高まりを確認することができる。また、教師の意識アンケートでは、竜北タイムと教師の成長に関する項目が上がっている。教師に裁量を与えて実践を進めた竜北タイムは、教師の成長の実感につながっていることが読み取れる。

今後の課題は、手だて3の振り返り活動を活用して「成長や課題を認識し、次につなげる姿」をいかに表出させるかである。今年度は、振り返りやリフレクションの活動を重視し、実践を進めた。生徒の成長につなげるためには、教師がいかに授業や学級経営、生徒指導の場面で、生徒に適切な価値づけを行うことができるかが重要である。今後も生徒と教師が共に育つ学校づくりを進め、学びをたのしむ姿をより多くの場面で表れるように、研究を進めていきたい。

おわりに



写真をご覧ください。4月の主題全体会で私が見つけた、「学びをたのしむ」竜北教職員の姿です。左端に立つ「担任役」の研究副主任により、「コミュニケーションタイム」の進め方を学んでいます。

ランダムな4人のグループをその場で組み、「好きなお菓子」などのテーマにしたがって、順番に話をしていきます。教室全体が素敵なスマイルに包まれ、「こんな学級を担任したいな」と、私は思わず呟きました。

決して、スムーズな2年間ではなかったと思いますが、それでも、全教職員が大切な役割を担い、一人でなく「チーム竜北」で歩んできた、何にも替え難い貴重な日々となりました。「生徒と教師が共に育つ学校づくり」が少しずつ形を成してくるのを感じ、校長として安堵するとともに、全ての教職員を誇らしく、そして愛おしく感じてしまう、今日この頃です。まさに、「チーム竜北」を超えた「ファミリー竜北」の誕生です。

校長の役割は何か。特にありませんが、強いてあげれば、職員室喫茶コーナーに「絆バスケット」を設置し、駄菓子を満たすことで、教職員の脳の活性化にわずかながらに貢献したことでしょうか……。

もう一人の研究副主任がよく口にする言葉、「研究発表会は通過点」は、本研究の現在地をうまく言い表していると感じます。まだまだ未熟な分、伸びしろがあるととらえ、明日からも引き続き全力で取り組んでまいります。今後とも、本研究を温かく見守ってくだされば、たいへん嬉しく思います。

令和7年10月23日
知立市立竜北中学校長
尾崎 淳一



研究同人

令和7年度（研究主任◎ 研究副主任○ 部会リーダー●）

尾崎 淳一	竹下 直子	国塚 雄樹	近藤 崇	林 香織
川中島 葉子	上野 みゆき	徳重 知穂	富永 徹	倉田 武
水野 清彦	太田 龍次	●河崎 翼	藤居 美帆	天野 利亮
藤本 青空	神谷 耕一	成田 大	水野 将人	落合 翼
榊原 未久	●柴田 温実	矢島 悠花	桂川 峻	●加藤 大和
藤山 望	後藤 美穂	宮地 慶	甫立 篤紀	神谷 駿
下田和可純	○●山口 弘美	平岡 幹生	小嶋 華代子	佐波 知幸
◎神谷 大樹	山本 野乃華	黒田 毬萌	津崎 竜海	西尾 拓也
●堀田 実里	三丁目 真梨花	早川 寛	亀田 広夢	●安藤 瑠一
○●山口 良	福田 隆太	石川 晴菜	小林 勇也	

令和6年度

丹羽 康二	吉田 祐泰	安井 元規	藤田 加奈子	清水 航
曾谷 有彩	岩間 孝二	近藤 大嗣	太田 由美	石田 綾花
明壁 利希哉	田町 昌也	濱本 恵里		

【ご指導・ご助言をいただいた先生】

静岡文化芸術大学 教授 倉本 哲男先生